



磐田市のカーボンニュートラル実現に向けた取り組み



磐田市

ゼロカーボンシティいわたロゴマーク

市が表明する「ゼロカーボンシティ」の達成に向けて、事業者や市民、市がともに取り組むシンボルとしてロゴマークを作成しました。
(令和5年8月制定)

【モチーフ】

“0（ゼロ）”とCARBONの”C”をモチーフにしています

【制作者】

鈴木利幸氏（静岡いわたPR大使）

○ゼロカーボンシティとは
2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量の
実質ゼロを目指す地方自治体。磐田市は2021年6月に表明



磐田市のカーボンニュートラル実現に向けた取り組み



市民向け



事業者向け



市役所の
取り組み



市と協力して環境学習メニューを提供する事業者 8社

公民連携による継続した学びの提供で、次世代を担う人材を育てます



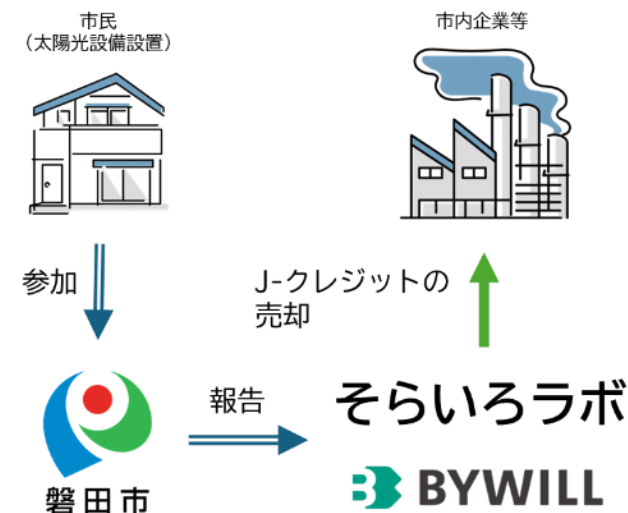
2 環境に配慮した生活様式の促進

① 新エネルギー及び省エネルギー設備普及促進奨励金

太陽光発電設備、蓄電池などを導入した市民に対し奨励金を支給します。

J-クレジットの創出支援

家庭に導入された太陽光発電設備などによるCO2排出削減量を「J-クレジット」認証し市内事業者に売却することで、地域の脱炭素化を促進します。



② ふじのくにCOOLチャレンジ「クルポ」の推進

環境に配慮した行動をするとポイントが付与される「クルポ」のアクションスポットを市内に設置しています。



3 ごみの減量

食品ロス及びプラスチックごみの削減に向けた取組みに関する協定

循環型社会の形成を目指し、市民・事業者・行政の三者が連携して、家庭や事業所から排出される食品ロスおよびプラスチックごみの削減を図っています。

賛同事業者 **21社 49店舗** 2025年3月末時点



▲食品ロス削減キャンペーン事業（令和6年度）



▲協定の締結式の様子（令和6年1月17日）

磐田市のカーボンニュートラル実現に向けた取り組み



市民向け



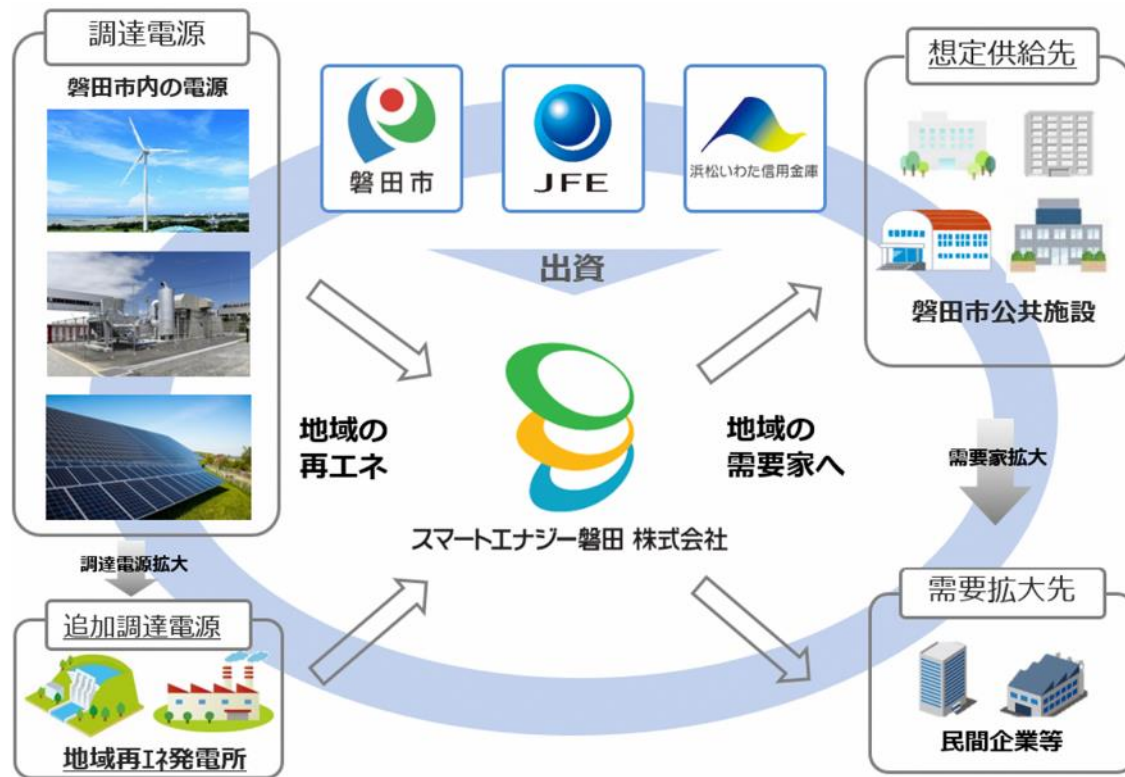
事業者向け



市役所の
取り組み

4 再生可能エネルギーの地産地消

スマートエナジー磐田(株)は、磐田市、JFEエンジニアリング(株)、浜松磐田信用金庫が連携して設立した地域新電力会社です。
再生可能エネルギーの地産地消、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。



【供給電力量】

32,067MWh

【供給事業者数】

158件

- ・ 公共施設 107件
- ・ 民間施設 51件

※令和5年度実績

イメージ：スマートエナジー磐田(株)提供

5 中小企業の脱炭素化支援

① 脱炭素投資促進事業費補助金

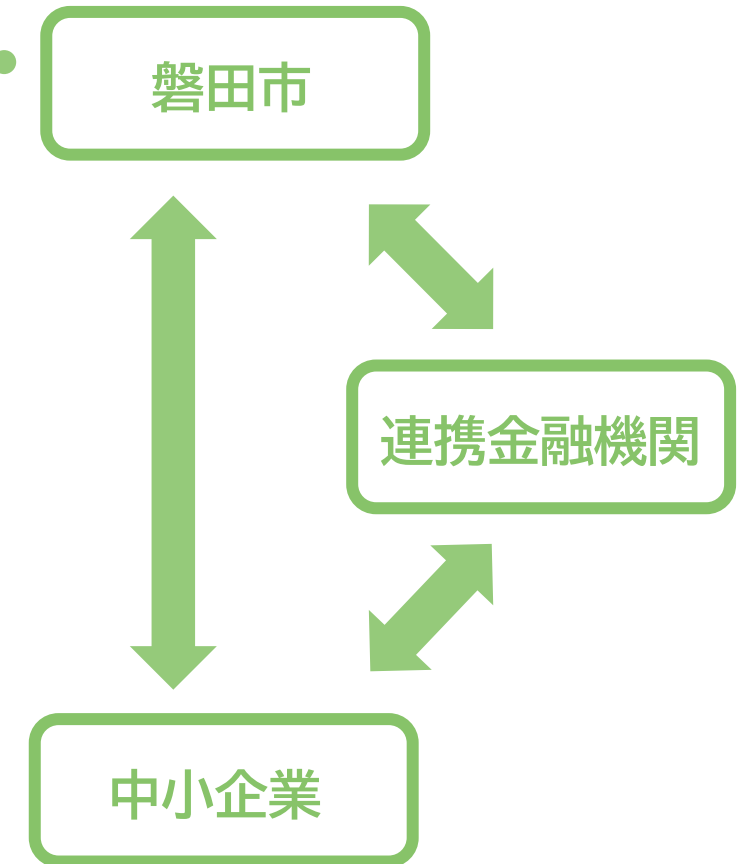
自社のCO2排出量を把握し削減に取り組む中小企業などに、磐田市と協定を締結した金融機関からの補助対象ローンの借入にかかる手数料の一部を補助します。

市と企業の脱炭素化に向けて協定を締結した金融機関（令和7年3月末時点）

しずおかフィナンシャルグループ（静岡銀行）、浜松いわた信用金庫、清水銀行、島田掛川信用金庫

② エコアクション21等認証取得事業費補助金

事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の削減などに取り組むため、エコアクション21等の認証を初めて取得する市内事業者に対し取得に要した経費の一部を補助します。



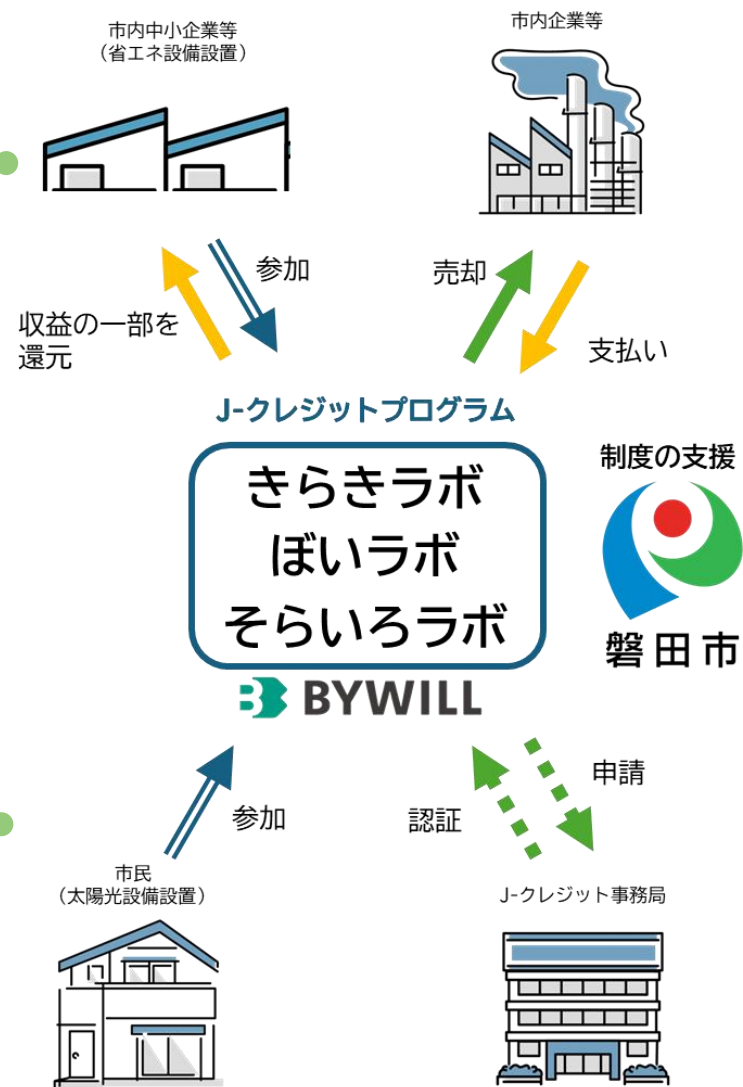
6 J-クレジットの活用

① 省エネ設備導入によるJ-クレジットの創出支援

LED照明やボイラー設備の更新によるCO2排出量削減効果の「J-クレジット」の認証とその販売を支援します。売却したJ-クレジットの収益の一部を得られるメリットがあります。

カーボンニュートラルの実現に向けた連携協定（令和7年1月）

磐田市は株式会社バイウィル（東京都）とJ-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する事業の推進などにおける連携協定を締結しました。



② 市内産J-クレジットの活用による脱炭素経営支援

市民や市内事業者が創出したJ-クレジットの市内事業者による活用を支援します。活用した事業者は地域脱炭素を支援することをPRできるなど環境貢献活動メリットがあります。

7 官民共創による産業分野の脱炭素化

磐田市企業脱炭素経営促進ネットワーク会議

磐田市の産業分野におけるカーボンニュートラルを実現するため、地域金融機関と経済団体などによる磐田市企業脱炭素経営促進ネットワークを創設しました。



磐田市のカーボンニュートラル実現に向けた取り組み



市民向け

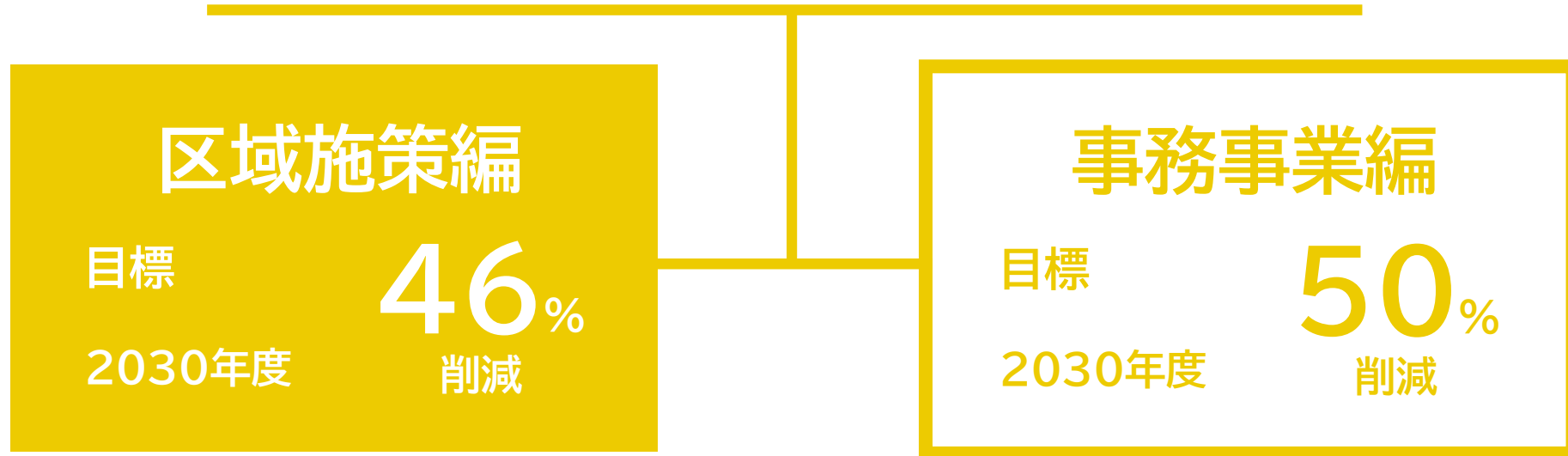


事業者向け



市役所の
取り組み

磐田市地球温暖化対策実行計画



磐田市地球温暖化対策実行計画では、温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、削減に努めています。

「区域施策編」：市域全体における削減に向けた計画

「事務事業編」：市の事務事業における削減に向けた計画

9 いわた COOL CHOICE DAYの実施

「磐田市職員が力を合わせCO2排出量削減にチャレンジする日」として、毎週第3金曜日に「いわた COOL CHOICE DAY」を実施しています。



マイボトルデー



10分間ごみ拾い



再エネ電力購入



ノーカーデー



クリアフォルダ回収



10 公共施設の脱炭素化

① 磐田市環境マネジメントシステム

市の施設や事務事業により排出される温室効果ガスの削減に向けて、目標・実施体制などを定めています。

② 省エネ最適化診断

市の公共施設におけるエネルギー使用状況を改善するため、省エネ最適化診断を実施しています。

③ 先進的省エネ建築物

豊岡支所は建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）のZEB（Nearly ZEB）認証を取得しました。





磐田市
2025年3月

